

地域付加価値創造分析の理論とケーススタディ

シンポジウム

再生可能エネルギーによる地域の再生 地域付加価値分析とシュタットベルケ

2016年11月11日

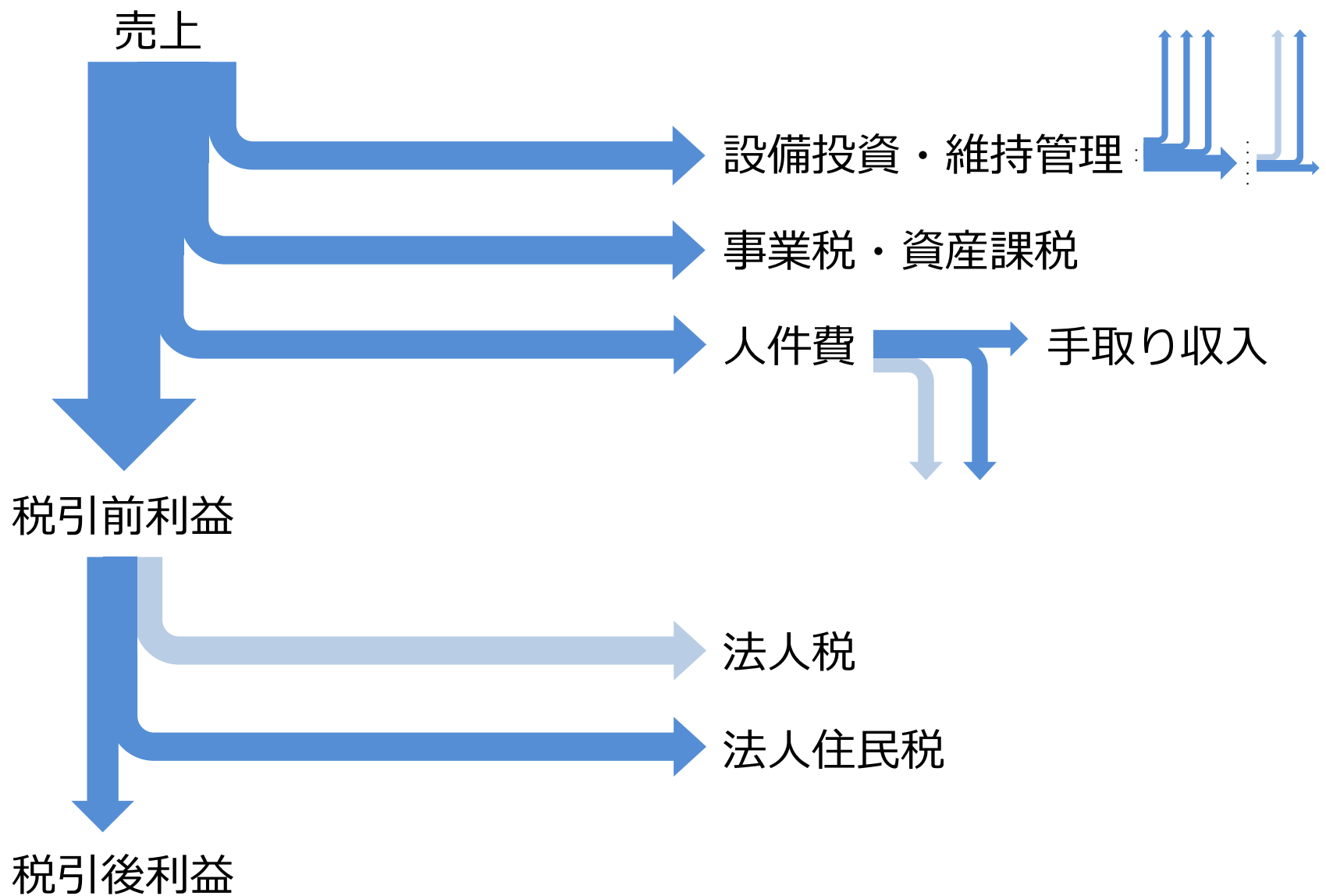
小川 祐貴

(京都大学大学院地球環境学舎／株式会社E-konzal)

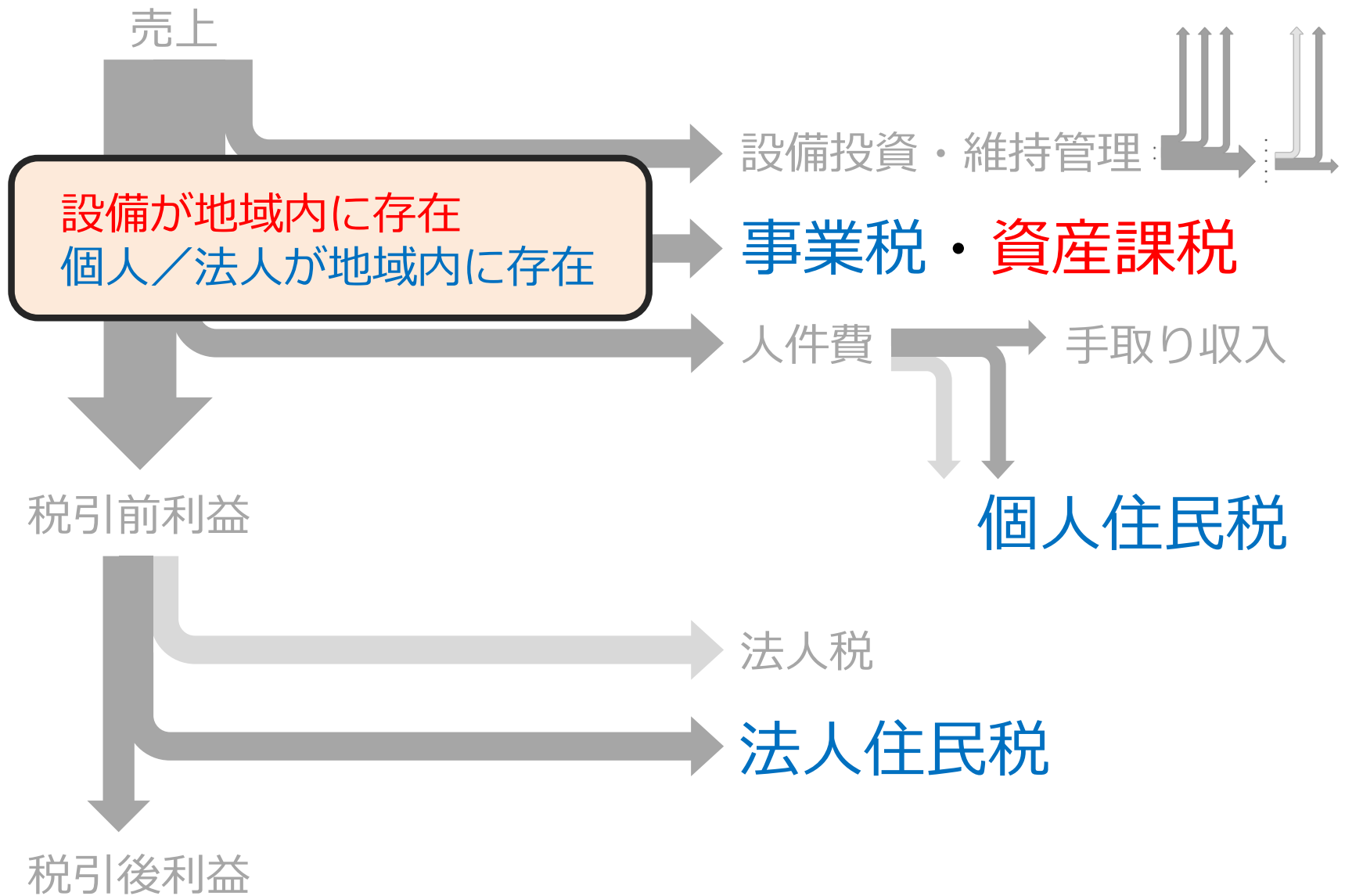


E KONZAL

事業とお金の流れ

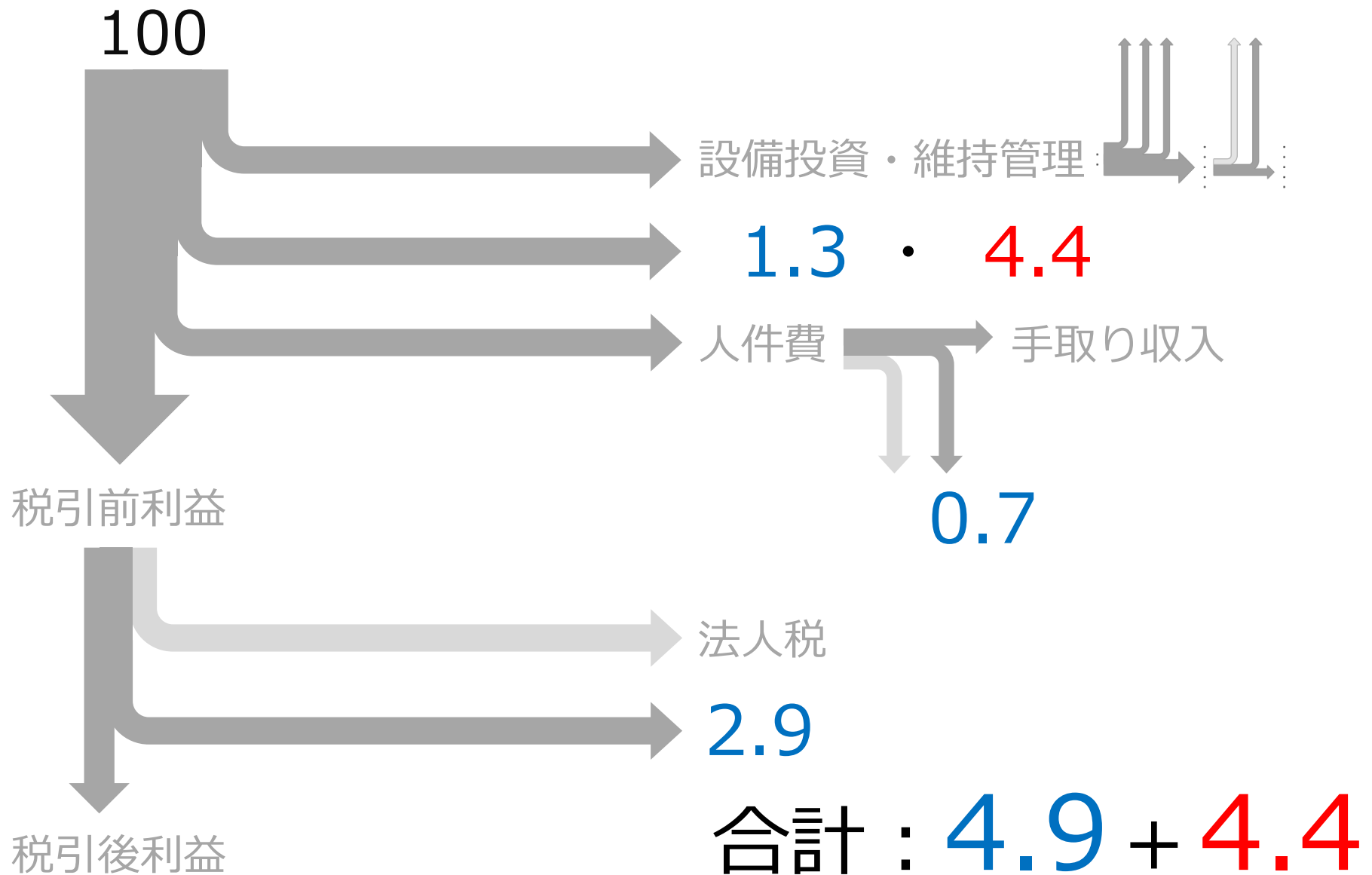


地方税 - 地域に残るお金

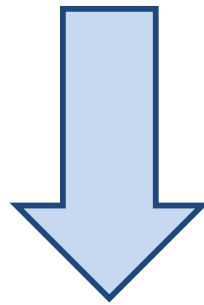


新しい事業が生まれたとき
地方税として地域に残るお金はどの程度か？

例：メガソーラー（稼働期間20年）



事業が生み出す経済価値は
どこへ行くのか.....？



地域付加価値創造分析

先行研究（ドイツ）

- 再生可能エネルギーの地域付加価値 (Regional-Value-Added, RVA) 分析が広く 発展・普及し活用 されている
- RVA分析の手法が地域の気候変動防止計画等の策定に活用されている

lfd. Nr.	Themenbereich	Investitionskosten	Regionale Wertschöpfung	CO ₂ Einsparung
1	Gebäude - TGA - Industrie & Gewerbe	613.400.478 €	27.085.548 €/a	98.396,8 t CO ₂
	88 Maßnahmen			
2	Verkehr	46.460.740 €	10.403.314 €/a	11.576,1 t CO ₂
	14 Maßnahmen			
3	Stromproduktion	100.757.012 €	38.152.448 €/a	136.061 t CO ₂
	33 Maßnahmen			
4	Wärme- & Kälteproduktion	148.856.536 €	75.634.878 €/a	114.068 t CO ₂
	29 Maßnahmen			
5	Flächennutzungs- & Bauleitplanung	0 €	0 €/a	0 t CO ₂
	36 Maßnahmen			

再エネ事業の4ステップ

システム製造

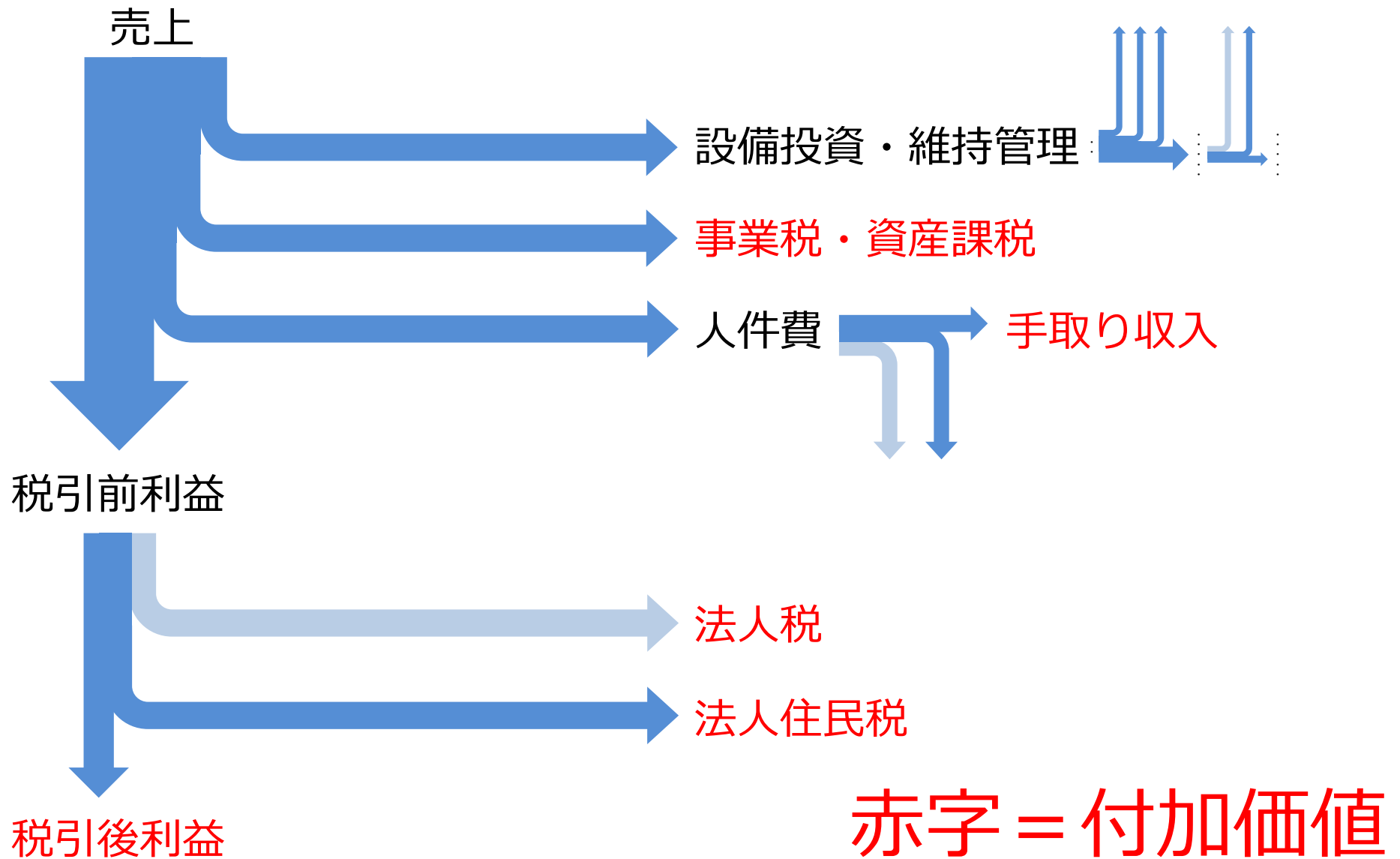
販売・企画・設置

運転・維持

システム管理

地域主体が
担い手になりうる

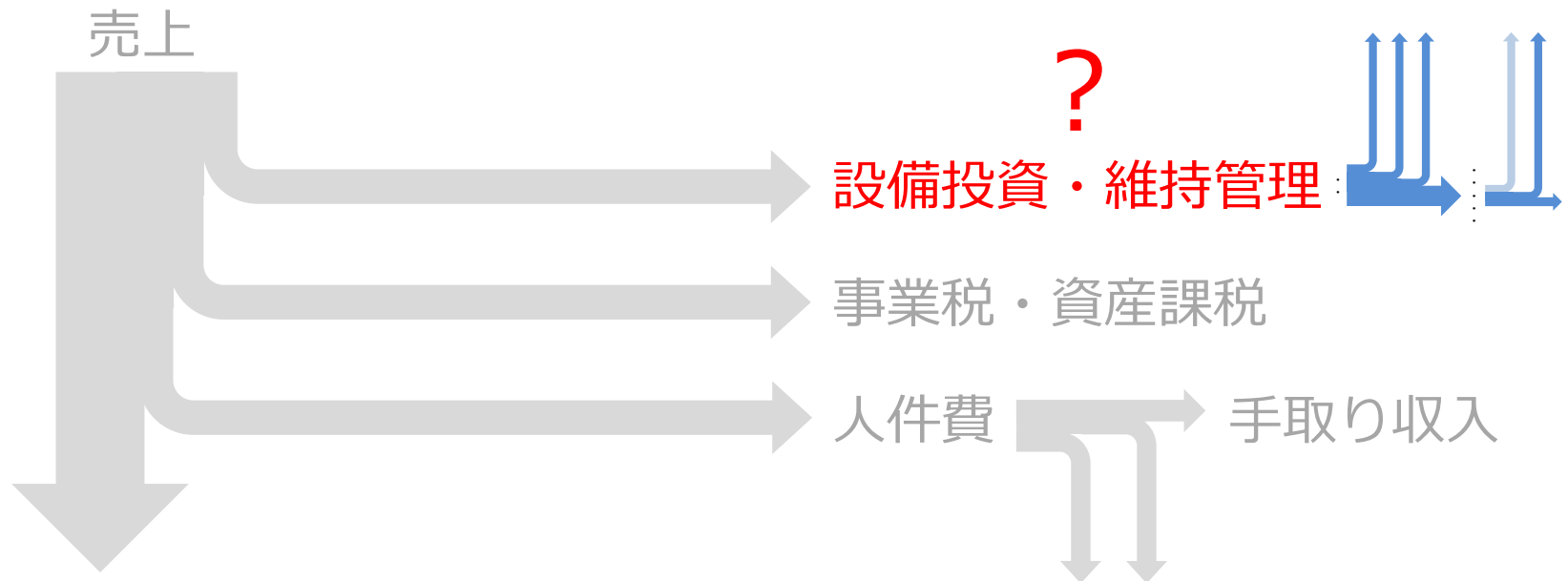
地域付加価値とは？



「地域」の取り分は？

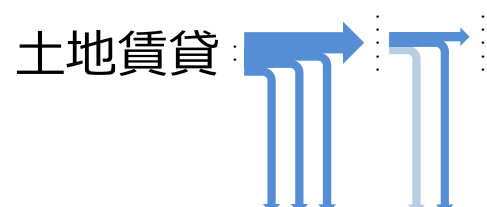
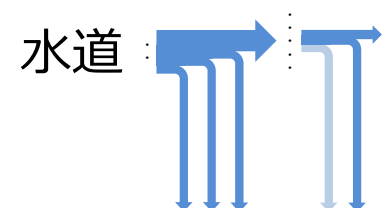
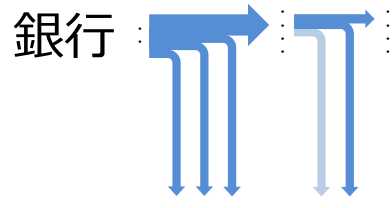
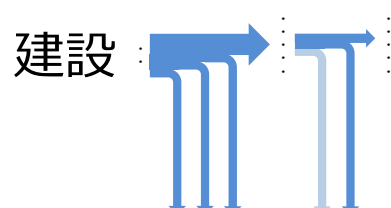
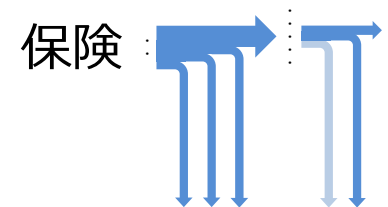
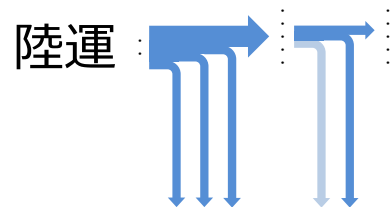
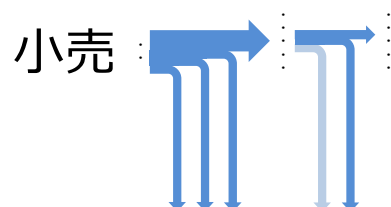
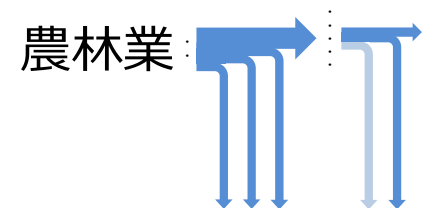
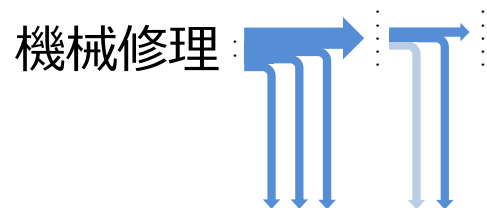
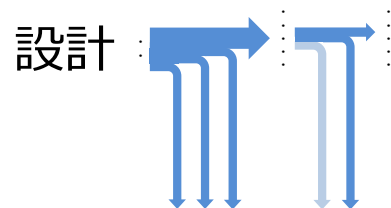
- 事業所の所在が地域内か？
- 従業員が地域内に居住しているか？

.....地方税・手取り収入の取り分を決める
収入が分かれば雇用者数も分かる



再エネに関わる産業

設備投資・維持管理



数値の根拠

- ・ 各再エネ技術のコスト構造

- ・ 経済産業省が公表しているもの
- ・ 文献調査
- ・ 個別ヒアリング

- ・ 産業ごとの利潤・賃金

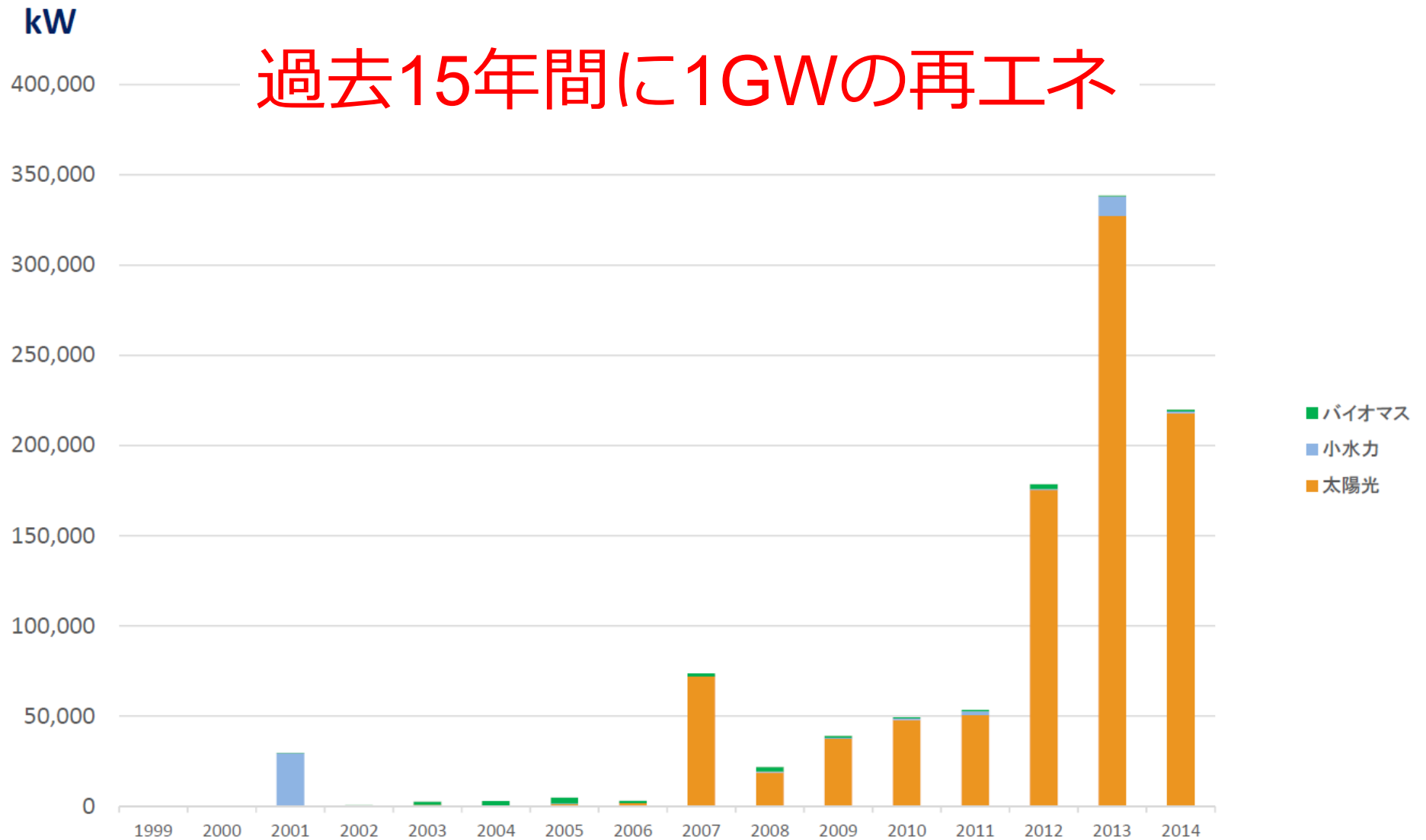
- ・ 法人企業統計
- ←他の同業種と同程度の利潤が得られなければ
各産業は再エネ関連の経済活動に従事しない

地域付加価値創造分析の活用方法

事後評価 = 進捗管理

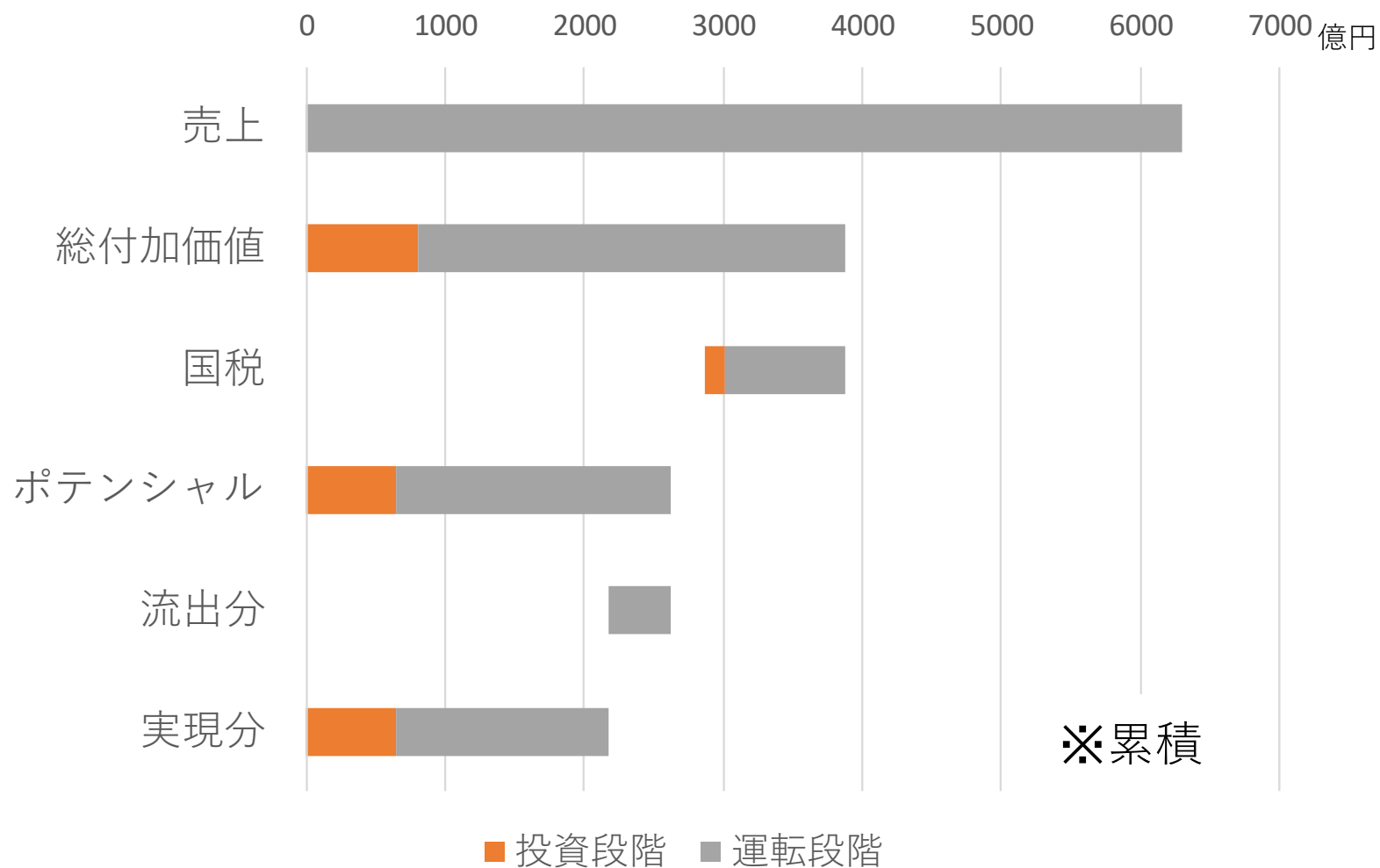
将来予測 = 計画策定

長野県を対象としたケーススタディ



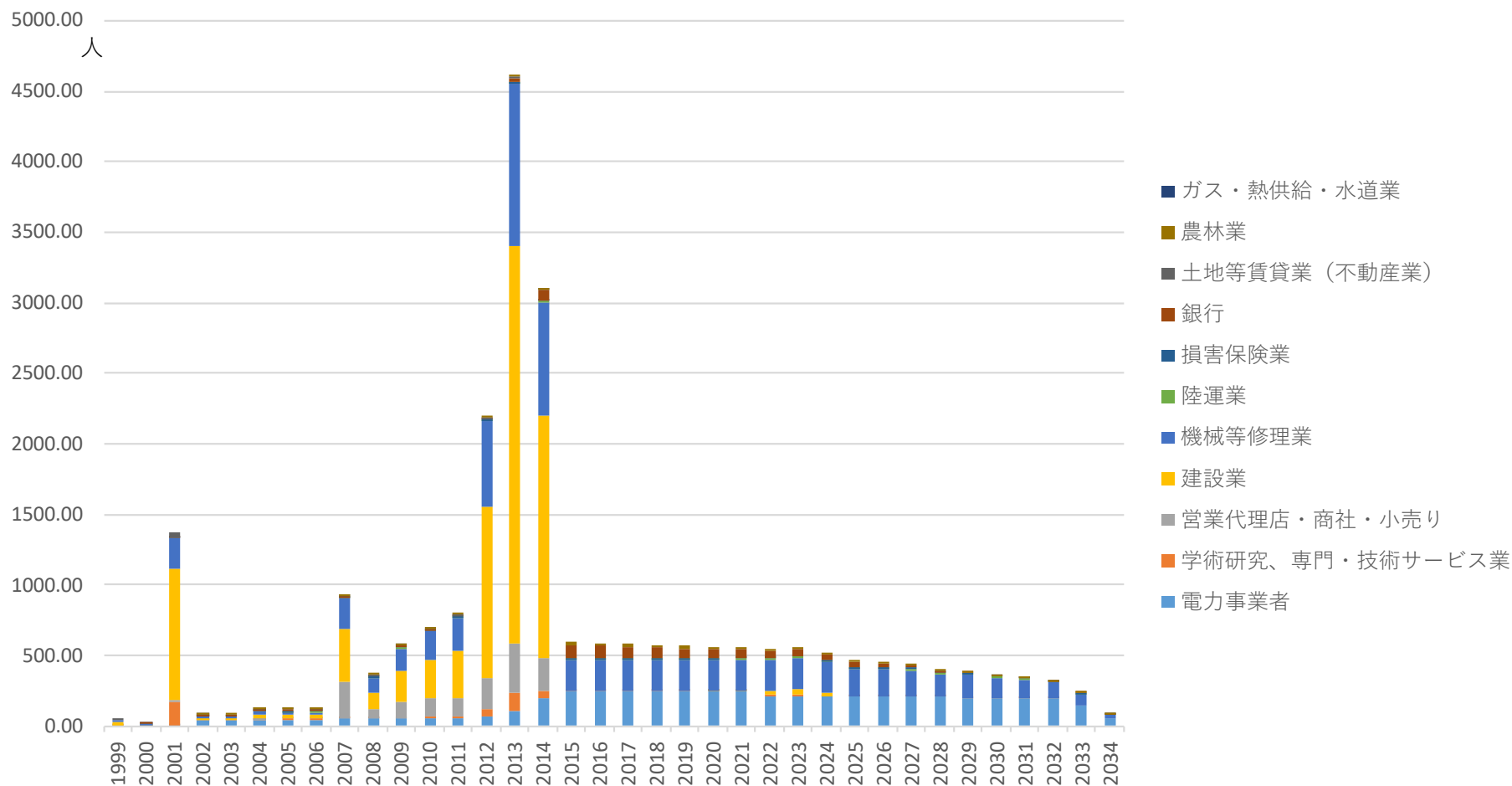
売上の30%が地域に残る

地域が約90%のオーナーシップを有する



年間500名の安定雇用

再エネ事業・メンテナンス分野の雇用



地域付加価値創造分析で.....

- 誰が、どれだけ儲かるかが分かる
 - 市民？ 地域の企業？ 域外の企業？ 自治体？
- 地域のどの業種でどれだけ雇用が生まれるかが分かる
 - 再エネ事業？ メンテナンス？ 農林業？
- 投資の費用対効果が分かる
 - いつ・どれだけ投資すれば、いつ・どれだけリターンがある？

